

Title	口一カルナレッジの普及プロセスに関する一考察 - よさこい祭りから学ぶ成功要因と応用可能性 -
Sub Title	
Author	下垣内, 智(Shimogaito, Satoshi) 浅川, 和宏
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2006
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2006年度経営学 第2106号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2106">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2106</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	浅川研究室	学籍番号	80430506	氏名	下垣内 智
(論文題名)					
ローカルナレッジの普及プロセスに関する一考察 ～よさこい祭りから学ぶ成功要因と応用可能性～					
(内容の要旨)					
<p>「イノベーションの普及」の歴史をさかのぼると、電信、電話、電灯、自動車、鉄道など…、いつの時代にも新しいものが発明され、それが周囲に徐々に普及してきた。現在のデジタル社会でも、インターネットや携帯電話またはそれを介した新しいサービスやプロモーション手段などが新たに出現し、急速なスピードで周囲に浸透している。これらの現象が、過去研究されてきている一方、デジタル時代のアナログイノベーションには、殆どフォーカスがあてられて来ていない。</p> <p>本研究では、祭りという極めてローカルなコンテンツが、あるきっかけを境に全国各地へ急速に普及していった現象に関して、ローカルナレッジの普及プロセスという観点で概念化する。具体的にはよさこい祭の普及プロセスに着目し、個別のインタビューと祭の現地視察、さらにその事例化を行った。その結果、次のことが明らかになった。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ローカルナレッジの普及プロセスにおいて、送り手と受け手以外の第3の存在＝ナレッジブローカーによる仲介機能が、その普及に重要な影響をあたえる。</li><li>2. ローカルナレッジの普及プロセスにおいて、仲介機能を果すナレッジブローカーによる脱文脈化、再文脈化プロセスの経由が、その普及に重要な影響をあたえる。</li></ol> <p>更に、上記概念に基づく一般事例の普及現象と比較する中で、以下の相関関係が新たに仮説として出てきた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文化、風習、習慣が関与する</li><li>・ロケーション（場）が関与する</li><li>・嗜好が関与する</li><li>・暗黙知が関与する</li></ul>					